

この時期の市栽培漁業研究センターでは、稚ガニや稚ウニの育成をはじめているそうです。残念ながら、とても小さいので全く見えなかった。

海面・陸上養殖の現状と今後の取り組み 根室市水産研究所・栽培漁業研究センターを視察

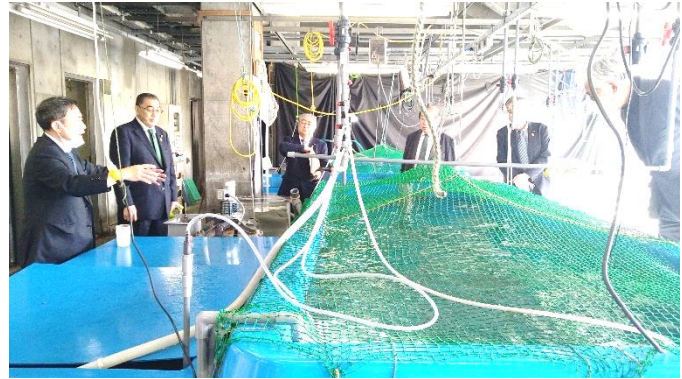
根室市では4年前からベニザケの海面養殖の試験を進めており、また2023年度からは新たにトラウトサーモンの海面養殖の試験を実施しました。根室市議会総務経済常任委員会(足立委員長)は根室市のこれまでの取り組み状況や今後の課題等について、市水産研究所の工藤所長からお話を伺いました。

市内4漁協等で構成する根室市ベニザケ養殖協議会は、これまで海面での養殖が難航していたベニザケを陸上養殖に切り替え、今年度から他の地域でも実績のあるトラウトサーモンの海面養殖を行いました。

昨年5月に花咲港内のいけすに稚魚3000匹を放流しましたが、夏に高水温が続いたため大部分が死に、11月下旬に残った魚はわずか64尾。生存率2%という結果でした。

それでも刺身や寿司で試食したところ、大型のトラウトサーモンに比べ「脂が少ないのも食べやすい」と高評価だったそうです。

2月14日、根室市議会総務経済常任委員会は根室市水産研究所と栽培漁業研究センターで養殖事業の状況を視察しました。



昨年夏から市水産研究所で陸上養殖しているサクラマス水槽。エサをあげると元気よく飛び跳ねながら食べていました。

次年度も同じ場所、同規模の試験が予定されています。ただ昨年の同時期に釧路や落石漁業が行った試験結果を参考に、今度は放流する種苗のサイズを大型化することや、高水温が予想される場合は早めに出荷する等の対策をとっていききたいと説明していました。

トラウトサーモン養殖は道南など他地域では秋から冬に育てて春に出荷するのが一般的ですが、根室半島沿岸では夏場の水温が低い特色を活かして他と時期をずらして出荷できる優位性があるそうです。

近年は養殖でもエサ代など経費が高騰しており、採算をとるために大規模化が必要と言われています。工藤所長は、高知県が行っているサツキマス養殖では大量生産が出来ない代わりに、特別なブランドとして地元のホテル等に高価格で卸している事例を紹介して、地域としての戦略を考えていくことが必要と話します。

またこのトラウトサーモン養殖で得られた知見をベニザケの養殖にも活かしていきたいと、今後の展望を語っていました。

市内の避難所等の備蓄品はどのくらいあるの？

—能登半島地震の状況を踏まえ、今後さらなる検討がされている—

現在、根室市内で避難所は15か所が指定されています。それぞれの避難所の備蓄状況はどのようになっているのでしょうか？

指定避難所以外の近隣施設で保管されている分も含め、市内全体で水1.5万リットル、米、野菜スープが各6116食分ずつ保管されています。避難者が市内全体で2000人いたら1日分の食料にあたります。また粉ミルク・液体ミルクの備蓄は計1488回分で赤ちゃん80名に3日分の量が保管されています(アレルギー対応のミルクも含む)。

発電機は全ての施設に1台ずつ配置されています。その一方でストーブは多くの避難所で配備されていません。

毛布は市内全体で3950枚。また各避難所にダンボールベッドとエアーマットは各24個ずつ、テントと間仕切りが各48セットずつ配備されています。その他、生理用品や子ども用・大人用おむつも備蓄されています。ところで、例えば光洋中学校だけでも指定避難所として最大2330人まで収容可能であり、個人的には備蓄数が足りない気もします。どう考えるべきでしょうか？

もともと避難時には各家庭で最低3日分程度の水・食料などを各自が準備して持ち出すことが求められています。必要な生理用品や紙おむつ、医薬品等もです。

しかし今回の能登半島地震では、地震後すぐに津波や大規模な火災が発生し、また正月の帰省時期のため避難者数が想定を大幅に超えたと言われています。そうした中で各家庭で「防災グッズ」を持って避難出来た方はどれ程いたでしょうか。加えて道路状況の悪化等により、他地域からの救援が遅れたことも事実と思います。

被災から数日たっても体育館の床の上にマットを敷いて寝ていたり、毛布なども圧倒的に不足していると報道されていました。冬場で体育館などの床は冷えが厳しく、水・食料・燃料が不足する中、コロナやインフルエンザ等の感染拡大も深刻となりました。



光洋中学校「防災フェスティバル」防災備蓄の展示品

根室市で防災を担当する危機管理課は「能登半島地震の状況を踏まえ、根室市における対策、特に冬場で必要な備蓄の内容についても検証をしている」と言います。ただその一方で「ダンボールベッド等の備蓄を増やすためには保管場所を新たに確保することが必要であり、総合的に考えていかなければならない」とも指摘していました。

なお根室市が備蓄している内容は、市ホームページに「根室市避難所等備蓄一覧」という資料が掲載されています。パソコン等をお持ちの方はぜひ一度ご覧ください。防災の今後のあり方について地域全体で考えてみませんか。